

■LEDユニットについて

- LED光源寿命（光束維持時間）は、40000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- LEDの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■グローブの取外し方 △注意 グローブの取外しの際は安全のため差込プラグを抜いてください。
感電の原因になります。

1 差込プラグを抜く

2 グローブを取外す
グローブ取付ネジをゆるめ、グローブを本体から取外す。

3 グローブを取付ける
グローブを本体に合わせ、グローブ取付ネジで取付ける。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書

＜保証について＞

1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。
3. グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
(3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
(4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(5)施工上の不備に起因する故障や不具合
(6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
(7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

＜アフターサービスについて＞

1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。
2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電氣部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載の「コイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンター」にお問合せください。

※This warranty is valid only in Japan.

保証期間(お引き渡し日より) 本体:1年間 LED電源/モジュール/LED電球: 3年間

お買上年月日

お名前

ご住所

電話 ()

取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号

コイズミ照明株式会社

KOIZUMI コイズミ照明器具

取扱説明書

型 番 AT50354

お客様へ コイズミ照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。			
⚠ 厳守	器具の組み立ては、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の組み立てに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	⊘ 禁止	ぬれた手で差込プラグを触らないでください。 →感電の原因になります。
			電源コードに重いものを載せたり、挟み込んだり、踏んだりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
⊘ 禁止	不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。 →火災・転倒・落下によるけがの原因になります。 	⚠ 厳守	電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
⊘ 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修理を依頼してください。 →そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
⊘ 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。	⚠ 厳守	長期間使用しない場合は差込プラグを抜いてください。 →長期間の外出やご旅行のときは安全のため、コンセントから抜いてください。
	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。		異常を感じた場合は、速やかに電源を切り、差込プラグを抜いてください。 →放置しますと火災・感電の原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
	器具の上に乗ったり、器具を蹴ったりしないでください。 →火災・感電・けがの原因になります。		
	ベットや枕元・カーテンの近くで使用しないでください。 →火災の原因になります。		

取説No. S019-005 DL／S・T-02

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
🚫 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らない てください。 →やけどの原因になります。	🚫 禁止	点灯したまま器具を持ち運ばないでください。 →火災・感電・故障・やけどの原因になります。
	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		差込プラグを抜くときは必ず差込プラグを持っ て抜いてください。 →電源コードが損傷し、火災・感電の原因にな ります。
🚫 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。	❗ 厳守	器具の近くにストーブなどの高温のものを置か ないでください。 →火災の原因になります。
	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異な りますが、一般的な使用状態で8～10年が目安 です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)に よる点検を実施していただき、不具合がありま したら適切な処置を施してください。→放置す ると、火災・感電・故障の原因になります。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AT50354	AC100V	0.18A	11.2W	LED

※リモコン送信機で消灯した場合、約0.5Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、差込プラグを抜いてください。

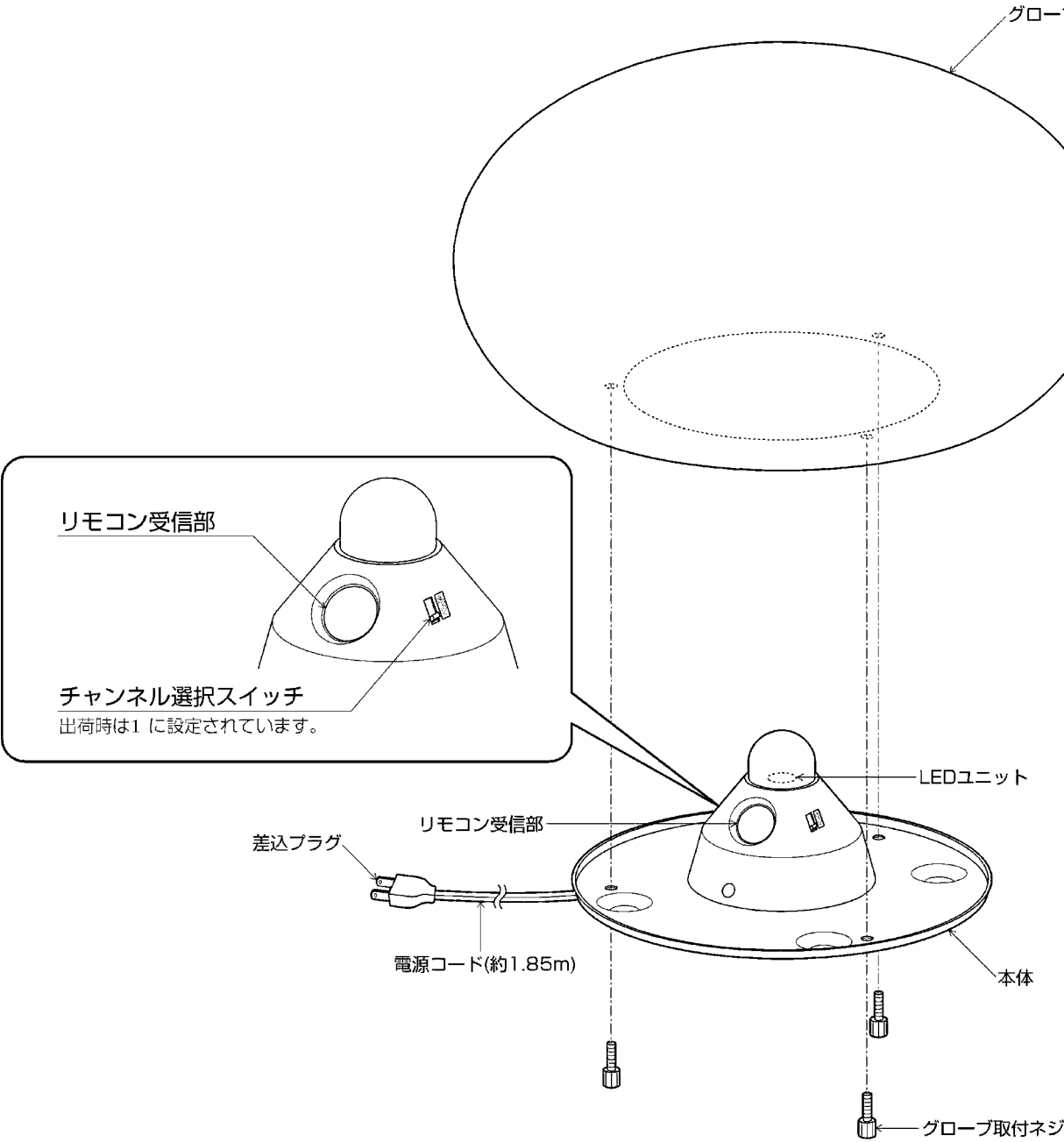
■使用前の確認

設置場所を確認する

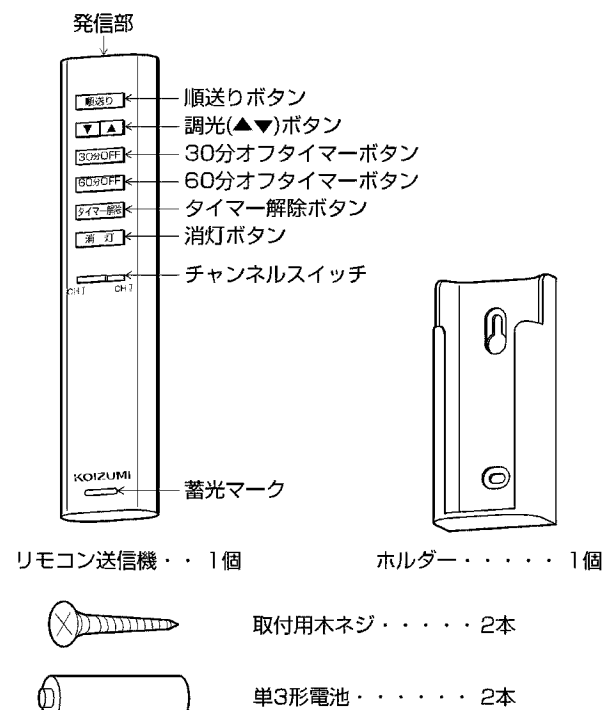
- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 倒れないよう安定した場所で使用する。

■使用手順 ⚠注意 組み立ての際は必ず差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

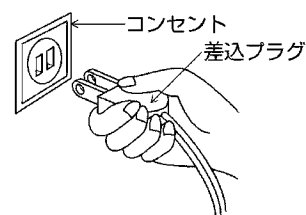


＜リモコン送信機一式＞



1 差込プラグを接続する

コンセントに差込プラグを差し込む。



2 点灯の確認を行なう

付属のリモコン送信機で点灯時の明るさを調整できます。

■リモコンで操作する ※操作の際は必ずコンセントに差込プラグを差し込んでください。

1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。(調光ボタン操作時には確認音はしません。)

調光(▲▼)ボタン

点灯時の明るさを調整できます。光源(100%~1%)をお好みの明るさに調整できます。(周囲温度約25℃時)
※調光状態は、室温、器具状態によって多少変化します。

チャンネルスイッチ

2台の照明器具を個々に操作する場合に照明器具側のチャンネルと合わせます。

＜2台の照明器具を操作する場合＞

一室で2台の照明器具をリモコン送信機で操作する場合は、どちらか一方の照明器具のリモコン受信部のチャンネルを1にし、他方を2にしてください。

順送りボタン

全灯 → 調光 → 消灯

の順送りが可能です。

※出荷時は50%調光に設定されています。
※調光ボタンで明るさを調整した場合、49%~1%の設定は記憶されますが、50%以上の場合は、50%調光になります。

30分オフタイマーボタン

30分後に器具が消灯します。

60分オフタイマーボタン

60分後に器具が消灯します。

タイマー解除ボタン

タイマーが解除されます。

消灯ボタン

器具が消灯します。
※タイマー起動時はタイマーも解除されます。

蓄光マーク

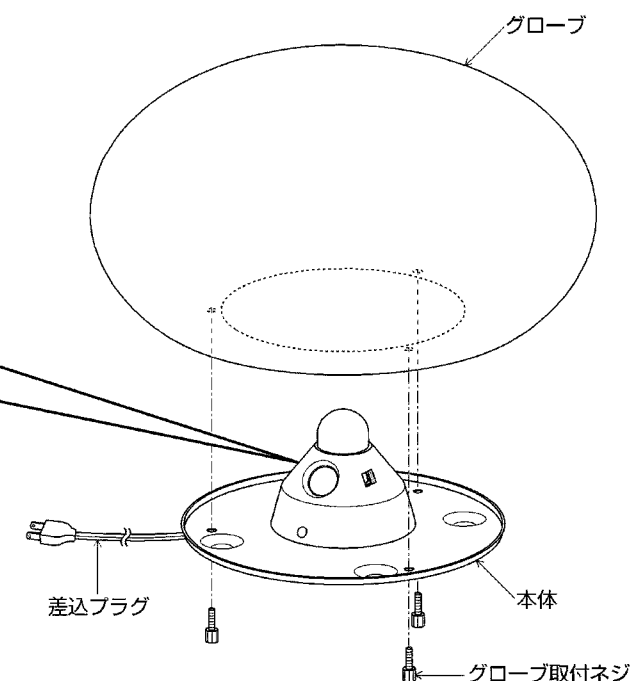
2 チャンネルのスイッチについて

チャンネル選択スイッチはグローブ内にあるため、差込プラグを抜いてから、本体底面のグローブ取付ネジをゆるめ、グローブを取外し、設定を行なってください。

リモコン受信部

チャンネル選択スイッチ

出荷時は1に設定されています。



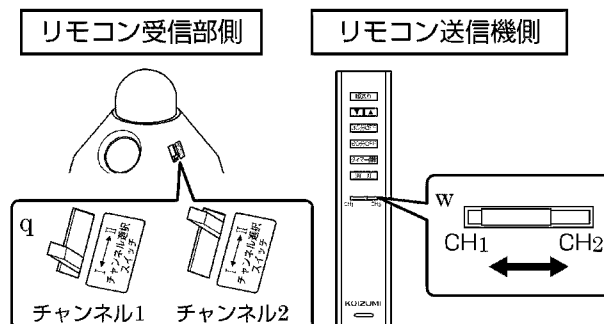
3 チャンネルの設定について

＜1台の器具のみ操作する場合＞

リモコン送信機のチャンネルを1にしてください。

＜2台の器具を操作する場合＞

一室で2台の器具をリモコンで操作する場合には、どちらか一方のリモコン受信部側のチャンネルを1にし、他方を2にしてください。
リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。

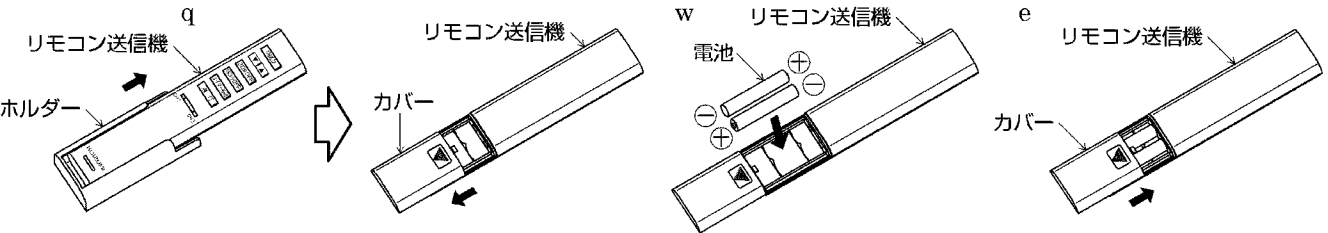


■リモコン送信機について

1 リモコン送信機をホルダーから取出す

- q リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーを外す。
w 電池の極性を表示に合わせて入れる。
e カバーを取付ける。

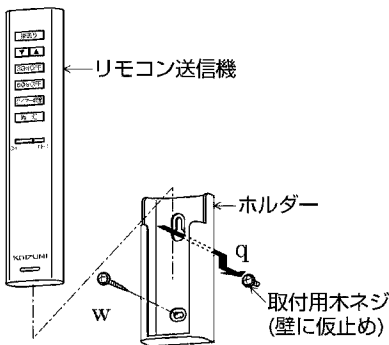
お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。



2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

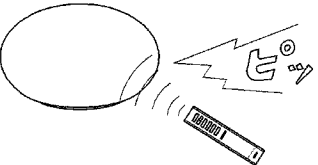
- q 必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
w 2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

※その際、強く締め込まないようにしてください。ホルダーが破損するおそれがあります。
※操作する場合はホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。



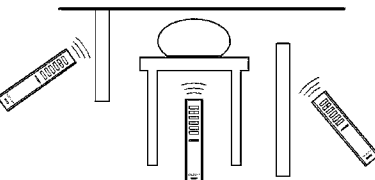
3 リモコン送信機を操作

すると確認音が本体よりします。
※調光ボタン操作時には確認音はしません。



4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- スイッチを早く押すと反応しない事がありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。過熱・故障の原因になります。
- 室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。器具内の温度が上昇しますと正常に戻ります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、作動しない場所があります。しゃへい物をさけて再度スイッチを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。



■タイマーの設定について

オフタイマーボタン(30分または60分)を押す。

タイマーモード

消灯モード

タイマー設定時の器具の点灯状態

全灯(調光)の場合

消灯の場合

器具が消灯状態の時は、タイマー設定はできません。

タイマー設定の信号音

ビビ	30分タイマー設定
ビビビ	60分タイマー設定
ビビー	タイマー解除

タイマーを動作させるには

コンセントに差込プラグを差し込む。

オフタイマーボタン(30分または60分)を押す。

タイマー作動。

全灯(調光)

注)器具が消灯している時は作動しません。

タイマー作動中に点灯状態を変えるには

どの点灯状態でも 順送りまたは調光のボタンを押す。

タイマー継続。

選択した点灯状態

注)調光ボタン操作時には確認音はしません。

タイマー時間の更新

全灯または調光の場合

オフタイマーボタン(30分または60分)を押す。

タイマー更新。新たに30分または60分のタイマーが設定されます。

全灯(調光)

タイマーを解除させるには

どの点灯状態でも

タイマー解除ボタンを押す。

タイマー解除。

点灯状態はそのまま

どの点灯状態でも

順送りで消灯または消灯ボタンを押す。

タイマー解除。

消灯

どの点灯状態でも

コンセントから差込プラグを抜く。

タイマー解除。

消灯

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するライプ以外のスイッチを使用してください。